

～松山の思い 届けたい～

ふるさと松山便

「ふるさと松山便」では、四国・松山の旬な情報をお届けするとともに、皆さんの交流の場として、その他様々な情報を発信していきます。

3月号 Vol.19



—今月の表紙— 道後で女帝プロジェクトが始動



飛鳥時代には斉明天皇らも肌着を着て入浴したと伝えられる

道後温泉旅館協同組合が、道後温泉の活性化に向けて、昨年7月から「女帝の湯復元プロジェクト」に取り組んでいます。史実をもとに女帝のいにしえの入湯スタイルを復元、旅館などで商品化し、女性客に利用してもらうほか、歴史を感じさせる景観や散策ルート作り、温泉地の新しいイメージの情報発信を行う予定です。

2月 県内の動き

- ・愛媛 FC のメイン練習場を梅津寺パーク跡地に移転することを正式発表(9日)
- ・コンビニエンスストア「サークル K サンクス」で三津地区のお好み焼き「三津浜焼き」が四国、岡山、広島で地域限定販売(7日)
- ・坂の上の雲が縁で、愛媛信用金庫(愛媛県)と三浦藤沢金庫(神奈川県横須賀市)が両市の町おこしで協力するパートナーシップを締結(9日)
- ・県庁本館の完成 80 周年を記念して「本館のある風景作品展」が本館 4 階で開催(11日～)
- ・大健闘、バンクーバー冬季五輪、スノーボードで松山市出身の青野令さんが総合 9 位(18日)
- ・伊予路に春を告げる恒例の「椿まつり」が、県内外から訪れた多くの参拝客でにぎわう(20～22日)

市政スポット

- ・4月から毎月第2土曜日も市民課窓口を開設、証明書発行や引越しに伴う手続きに対応(9日)
- ・松山城 二ノ丸跡の井戸で日露戦争当時の 10 ルーブル金貨が発見される(9日)
- ・日本航空(JAL)で、市内の観光情報や小説「坂の上の雲」ゆかりの地を紹介する映像を全国 37 路線の機内で放映(11～28日)
- ・フォークデュオ「トワ エ モワ」が、松山で生まれた「この街で」をカバーし、都内でレコーディング(19日)
- ・まつやま農林水産物ブランド化推進協議会が、新ブランドに「そらまめ」を認定し、ブランドシンボルマークを発表(22日)

特集

松山の魅力を発信!!

「坂の上の雲」のまちスペシャルドラマ館がオープン

松山の魅力を発信!! スペシャルドラマ館がオープン

3月7日、スペシャルドラマ「坂の上の雲」にちなんだPR施設が大街道の松山城ロープウェイ駅舎2階にオープンしました。この施設はドラマ放送をきっかけに松山の活性化を図ろうと企画されたもので、ドラマで使用された衣装や小道具などが展示され、随所に様々な演出がなされています。今回の特集はドラマ館担当の吉岡信一さんにその魅力などを聞きました。

「いよいよオープンしましたね」

吉岡 昨年末に放送されたスペシャルドラマ「坂の上の雲」。皆さんご覧になりましたか。このドラマは3年に亘って放送されます。松山市ではこれを地域活性化の絶好の機会と捉え、民官が一体となって交流人口の拡大に向けた取り組みを行うため、昨年に民間事業者が主導で「交流人口・産業拡大会議」を立ち上げ、当時の時代背景となった明治という時代を松山で体感してもらおうと「明治体感 まつやま博」と銘打ち、様々な事業を展開してきましたが、ようやくその中核となる施設がオープンできたことで安堵しています。

「ドラマ館の見どころは」

吉岡 ドラマ館では、日露戦争で活躍した軍人・秋山好古、真之兄弟や俳人・正岡子規ら松山出身の主人公の生涯や当時の国際情勢をパネルで紹介したり、撮影で使った軍服などの衣装やセット、出演者のサインなどを



ドラマの衣装が展示

を展示。中でも子規の東京の住まいとなった「子規庵」を再現したセットは、皆さん、立ち止まって感慨深げに見られています。

「今後の展開策について」

吉岡 ドラマ館は、ドラマの放送期間に合わせて、平成24年の1月末まで開催する予定としており、年間約15万人の入館者を目標としています。コンセプトは、ドラマのストーリーにもとづき、明治・松山の魅力体感空間を展示していくことと

しますので、放送に沿って展示内容も変えていくなど、魅力ある施設づくりを努めていきます。



松山市出身の茂本ヒデキチさんの作品「三人の主人公」が観光客を迎える



再現された子規庵

「在京の皆さんにメッセージを」

吉岡 松山では、ドラマ効果により、12・1月は、坂の上の雲ミュージアムなど関連する施設は軒並み観光客が急増しました。ただ、1年間集中して放送する大河ドラマと違って、年末に3部に分けて放送するため、どうしても間隔が空いてしまいます。そこで、放送の谷間の時期にも観光客を引き付ける継続的な取り組みが必要で、魅力のあるイベントもさることながら、その情報を効果的に発信していくのが重要だと感じています。皆さんにおかれましては、どうかこれらの情報を友達や会社の方々にお伝えてください。そして、松山へお帰りの際は、ドラマ館にお立ち寄りいただけますようお願いいたします。



ドラマ館の隣に設置された「物産館」も同日オープン

お問い合わせ
TEL 089-921-0041
交流人口・産業拡大会議



ドラマ館情報
・開館時間 8:00~17:30
(8月のみ 18:00)
・利用料金 大人 600円、
子供 300円

お問い合わせ

松山市 東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目4-1 日本都市センター会館11階

TEL 03-3262-0974 E-mail: tokyo@citymatsuyama.eh.jp